



たかが愛の、代用品。

チョコレート

ハル・ペリー/ペリー・ホフ・ソートソ/ヒース・レジャー



2002年 ベルリン国際映画祭
最優秀主演女優賞受賞



2002年 アカデミー賞
最優秀主演女優賞受賞



2002年 ベルリン国際映画祭
最優秀主演女優賞受賞

2001年 ナショナル・ボード・オブ・レビュー
最優秀主演女優賞 < 最優秀主演男優賞 > 受賞

監修：デーヴ・ワグナー 脚本：ミロ、フジ、カーク、カール、ロコズ 2001年 7月 4日 / 113分 / SR, DTS, Dolby Digital, SDDS 提供：配給：ギャガ・コミュニケーションズ / ショジョシ / シネマワールド 宣伝：ギャガ・コミュニケーションズ 販売：ギャガ・コミュニケーションズ 企画：ギャガ・コミュニケーションズ 制作：ギャガ・コミュニケーションズ 配給：ギャガ・コミュニケーションズ 代理店：ギャガ・コミュニケーションズ 輸入：ギャガ・コミュニケーションズ 販売：ギャガ・コミュニケーションズ 企画：ギャガ・コミュニケーションズ 制作：ギャガ・コミュニケーションズ 配給：ギャガ・コミュニケーションズ 代理店：ギャガ・コミュニケーションズ 輸入：ギャガ・コミュニケーションズ

©2001 Lions Gate Films, Inc. All Rights Reserved.

www.gaga.jp

18禁

黒人として、アカデミー史上初の最優秀主演女優賞を受賞したハル・ベリーと、個性派俳優ビリー・ボブ・ソーントンが競演。深い喪失の淵から、愛を知ることによって人生を取り戻す男と女の新たな出発の物語。



8月24日(土)より感動のロードショー!!

特別鑑賞券¥1,500(税込)絶賛発売中! [当日一般¥1,800の処]

初日プレゼント! 初日ご来場の方(先着限定)に、アカデミー授賞式、ハル・ベリーの涙もにじまなかったマスカラ『REVLON マスカラ ラッシュキュララー・ウォーターブルーフ』をプレゼント!

2002年 第74回アカデミー賞

＜最優秀主演女優賞＞受賞 <最優秀オリジナル脚本賞>ノミネート
 2002年 ベルリン国際映画祭 <銀熊賞 最優秀主演女優賞>受賞

(2001年 ナショナル・ボード・オブ・レビュー <最優秀主演女優賞><最優秀主演男優賞>受賞)

- 2002年 ゴールドエンターテインメント賞 <最優秀主演女優賞>ノミネート
- 2002年 ゴルデン・サテライト賞 <最優秀主演女優賞><最優秀主演男優賞>ノミネート <最優秀脚本賞>受賞
- 2002年 全美映画俳優協会の賞 <最優秀主演女優賞>受賞
- 2002年 アメリカ映画協会の賞 <Actress of the Year>ノミネート <Movie of the Year>ノミネート
- 2002年 インディペンデント・スピリッツ賞 <最優秀脚本賞>ノミネート
- 2002年 シカゴ映画批評家協会の賞 <最優秀主演女優賞>ノミネート
- 2002年 フロリダ映画批評家協会の賞 <最優秀主演男優賞>受賞

INTRODUCTION・「ついに開かれたの!」本年度アカデミー賞の最大のハイライトは、ハル・ベリーの涙ながらのスピーチ。彼女は、アカデミー賞の歴史を塗り替える、黒人で初の最優秀主演女優賞を受賞、愛に傾いた寂しくも情熱的な女優を熱演、演技派としての評価を不動のものにしてみせた。その他、ベルリン国際映画祭でも銀熊賞である最優秀主演女優賞を獲得するなど、世界の映画祭や批評家が絶賛。今後の出演予定作にはボンド・ガールを演じる『007』シリーズ最新作など超大作が目白押し、今後ますます目が離せない存在となった。

対するビリー・ボブ・ソーントンは、恐ろしいほど黒い肌をした女に惹かれていくという難しい役柄を演じきり、本作でナショナル・ボード・オブ・レビュー最優秀主演男優賞を受賞、『ハンディック』(01)『バーバー』(01)と充実した仕事が続く今、彼は個性派俳優としてキャリアの絶頂期にある。

STORY・死刑囚の夫と幼い息子を相次いで亡くした女(ハル・ベリー)と、愛を注ぐことを知る前に息子(ビース・レジャー)を目前で失った人種差別主義者の孤獨な男(ビリー・ボブ・ソーントン)。それぞれの家族の死をきっかけに、交わるはずのない二人が心を癒し合わせていく…。深い喪失の淵から、愛を知ることによって人生を取り戻す男と女の新たな出発を描いた、心に染み入るヒーターなラブ・ストーリーが本作である。

STAFF・監督はこれが日本初登場のマーク・フォスター。サンダンス映画祭で注目を集めたスミス生まれの新興監督である。本作は、喪失と償いについての映画と謂ふフォスター監督の、カザフエテ映画を思わせるような対象との距離感、虚飾を排したシンプルで力強く穏やかな語り口は、次世代の巨匠の誕生を予感させるに充分である。

彼は「人種差別、愛、許し、そして、希望」—それらが密接なく描かれている脚本に惚れ込んで本作のメガホンを取った。その脚本を書いたのは舞台俳優出身のミロ・アディカとウィル・ロコス。脚本家デビューとなった本作でいきなり、アカデミー賞他、各賞の脚本賞にノミネートされ、彼らもまた将来を大きく期待されている。

出演:ハル・ベリー/ビリー・ボブ・ソーントン『ハンバー』、『スリリング・プレイング』、『レス・レジャー』/バトリック・ホイル
 監督:マーク・フォスター/脚本:ミロ・アディカ/ウィル・ロコス

2001年/アメリカ/113分/SR・DTS・Dolby Digital・SDS/提供:キャガ・コミュニケーションズ G.S. マグネティックグループ/協賛:日活
 宣伝:キャガ G.S. マグネティック・エンターテインメント/子母翻訳:松田美奈 <http://www.gsgaia.jp>



梅田スカイビル(空中庭園)タワーイースト3F
シネ・リーブル梅田
 GENE LIBRE UNITED
06(6440)5930
www.nikkatsu.com

連日 11:50 | 2:05 | 4:20 | 6:35 | 8:50 各回入替制